

# 基礎疾患のある小児のフィジカルアセスメント

特集に  
あたって

## 疾患や障害をもつ子どもたちの力と 成長・発達を支える看護実践のために

近年、医学の進歩により、先天性疾患や慢性疾患をもつ小児の多くが成長し成人を迎えることができるようになってきました。しかし、先天性疾患や慢性疾患をもつ小児の多くは、基礎疾患の継続的な治療や手術、合併症治療など、長期的に医療が必要となります。小児慢性特定疾病医療登録件数<sup>1)</sup>は、1998(平成10)年から2014(平成26)年まで、11万人前後で横ばいに推移しており、子どもの出生数が緩やかに減少していることから考えると、慢性疾患をもつ小児の割合が増えていることになるといえます。また、NICU(neonatal intensive care unit)などから退院後も、引き続き人工呼吸器や胃瘻などを使用し、痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な状態にある小児は、2016(平成28)年には約18,000人<sup>2)</sup>になり、年々増加しています。このような先天性疾患や慢性疾患をもつ小児や医療的ケアが必要な小児(以下、基礎疾患のある小児)の多くは地域で生活しているため、日頃から専門的に基礎疾患のある小児をケアしている看護師以外の看護職が、地域の病院の救急外来やクリニック、さらには保育所や学校などで、基礎疾患のある小児を見る機会も増加しています。子どもたちの日常に近いところで働く看護職には、さまざまな場面で子どもたちの症状や状況を正しくアセスメントし、必要な医療・看護につなげるとともに、必要以上の日常生活の制限にならないようなかわりが求められています。

2020(令和2)年になり、世界的にCOVID-19の拡大が続いています。この新しいウイルスは、成人と比べて18歳未満の小児の発症率は圧倒的に少ない傾向にあります。また、成人においては、糖尿病や心血管障害のある患者が重症化しやすいことが明らかになっている一方で、小児においては症例数が多くないため、同様の関連があるのかは明らかになっていません。しかし海外の報告をみると、米国の46カ所のPICUに入院したCOVID-19患児の約80%に基礎疾患があった<sup>3)</sup>、英国のキングスカレッジ病院でCOVID-19の治療を受けた基礎疾患のある5人の小児の入院期間は中央値20日(7~84日)、基礎疾患のない小児の入院期間は中央値3日(1~8日)であった<sup>4)</sup>など、基礎疾患のある小児が重症化しやすい可能性を示唆する

文献が複数発表されています。このように、基礎疾患のある小児は、感染症に罹患したり、侵襲の大きな手術を受けることで体内のバランスが崩れやすく、重症化しやすい特徴があるので

す。小児にかかわる看護師は、疾患や障害をもちながらも、その子どものもっている力を最大限生かしてさまざまな社会活動に参加できるように成長・発達を支援することが求められます。とくに、経管栄養や人工呼吸器などの医療的ケアが必要な小児の場合には、育つべき時期に臓器が育たないことで、活動の機会が減るといった問題が起こっています。さらに、心疾患や腎疾患などの基礎疾患をもつ小児が、肺炎や胃腸炎などの一般的な疾患で受診・入院したときには、急性の疾患の基礎疾患への影響も考えたいうえでアセスメントしたり、ケアを行うことが求められます。

そこで本特集では、一般的な小児のフィジカルアセスメントと身体的発達をpushさえたうえて、基礎疾患のある小児の病態、急性疾患に罹患したときのアセスメントの視点について整理します。疾患に関する事例提供では、臨床で専門的にそれぞれの基礎疾患の子どもにかかわっている看護師の方々に執筆をお願いしました。COVID-19の流行拡大のなか、ご執筆いただいたことに深謝いたします。本特集が、基礎疾患をもつ子どもが「その子なりの成長・発達」「その子と家族が望む生活」を送るための一助になれば幸いです。

### 【文 献】

- 1) 小児慢性特定疾病情報センター：小児慢性特定疾病医療登録件数の推移。 <https://www.shouman.jp/research/totalization>
- 2) 田村正徳：医療的ケア児に関する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携促進に関する研究(2017年度総括)。2017。 <https://research-er.jp/projects/view/998532/1026420>
- 3) Shekerdemian LS, Mahmood NR, Wolfe KK, et al : Characteristics and outcomes of children with coronavirus disease 2019 (COVID-19) infection admitted to US and Canadian pediatric intensive care units. JAMA Pediatrics 2020. <https://jamanetwork.com/journals/jamapediatrics/fullarticle/2766037>
- 4) Harman K, Verma A, Cook J, et al : Ethnicity and COVID-19 in children with comorbidities. Lancet Child Adolescent Health. 2020. [https://www.thelancet.com/journals/lanchi/article/PIIS2352-4642\(20\)30167-X/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lanchi/article/PIIS2352-4642(20)30167-X/fulltext)

淑徳大学看護栄養学部看護学科教授

小川純子 Ogawa Junko